

令和4年1月15日

令和4年 年頭挨拶

呉地区柔道連盟会長 中原 裕侑

あけましておめでとうございます。令和4年を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

12月半ばより、日本中にオミクロン株が拡大し、広島県では「まん延防止等重点措置」が出されました。これに伴って広島県柔道連盟 及び 呉地区柔道連盟の鏡開き式が中止になりましたことは残念でなりません。本年は、嘉納師範が永昌寺で日本傳講道館柔道を誕生させて140年になります。去年は東京オリンピックの開催があり、その中でも柔道の日本代表選手が素晴らしい活躍をしたことは皆さんもご承知だと思います。これが切っ掛けとなり、柔道人口が増えればと期待しているところです。



今の稽古状況はどこも競技に特化して乱取り中心になっていますが、呉地区柔道連盟の方針として「形」の習得に力を入れて参りました。その成果を発揮すべく、鏡開き式で「形」の演武を予定していましたが叶いませんでした。柔道の修行は、「形」「乱取り」「講義」「問答」と伝えられております。私たちはこの教えを理解していくことが教育に繋がると考えています。「勢力善用」「自他共栄」の実践に努め、講道館柔道の教えを発信して行きます。今後もこのような状況が続くと思われませんが、役員の皆様のご協力、保護者の皆様のご理解の程をお願いしてこの難局を乗り越えて行きたいです。

最後になりましたが呉地区柔道連盟の会員の皆様とご家族にとりまして幸多い良い年になりますようにお祈り申し上げます。